

合格体験記

PE 登録体験記 1

1. 会員番号 PE0233 氏名 藤村宜孝
2. 専門分野 機械設計、生産技術
3. 保有資格 技術士(機械)

初めまして、藤村と申します。JSPE に入会后、たくさんの方々に御支援をいただき、PE 登録できましたことを感謝申し上げます。本体験記が、PE 登録を目指す方々のお役に、少しでもたてれば幸いです。



1. デラウェア州を選んだ理由

私がデラウェア州を選んだ理由は次のとおりです。

- 1.1 ホームページや書類の記載内容が非常に分かりやすい。登録資格、手続き、CPD 条件など知りたいことがすぐに見つかる。
- 1.2 seal 登録以外の登録申請手続きを全てホームページ入力とクレジットカード決済で行える。このためか、登録料、更新料などの費用が安い。出張などで自宅を離れていることが多いのでメリット大。
- 1.3 不明点などの問い合わせに対する回答が早い。日本時間の夕方にメール発信すると、寝る前には回答をいただける。
- 1.4 15 年以上の業務経験があれば、大学教育認定を省略できる。(私は 16 年の業務経験がありましたので、大学教育認定無しで通りました。)

2. 登録要件

デラウェア州における登録要件は次のとおりです。

詳細は、ホームページトップの <https://www2.dape.org/> の Reference Documents の Delaware's Professional Engineers' Act のリンクから pdf ファイルをダウンロードください。10 ページの § 2817 requirements for licensure に要件が記載されています。

- 2.1 reference は 5 名、内 3 名は PE であること。各業務経歴につき、それを証明する 1 名の supervisor が必要。一人の supervisor が全業務期間に対して評価も可。日本の技術士は PE の代わりとして認めてもらえない。(私の場合、PE は会社の同じ部内の方 1 名と、JSPE を通じて知り合うことができた社内の方々 2 名にお受けいただきました。)
- 2.2 卒業教育機関の種類に応じて 4~8 年の業務経験があること。但し board が認定する業務経験 15 年以上、日本で FE、PE 試験合格済であれば、大学の教育認定不要。

3. 手続き

登録手続き手順と、注意事項を次に記載します。

- 3.1 ホームページ <https://www2.dape.org/> の Professional engineer → new applicant から新規ユーザー登録に必要な情報を入力。

section 1, application type は register to take the exam. を選択

section 1, 住所の ZIP コードは 00000 を入力。ZIP コードの入力は必須だが日本の郵便番号は桁があわないため、住所欄に入力する。

section 2, 日本で FE 試験を合格した場合、州は Dalaware を選択。

section 4, 業務経歴は自由記述で文字数制限無し。私は、16年の業務経歴を大きく3期間に分けて記載しました。reference いただいた方の御指導をふまえ、専門的な言葉をできるだけ避けつつ、私の業務レベルが確実に進化していることと、私が行った成果が審査員に分かっていただけよう心がけました。

- 3.2 code of ethics のテストをホームページ上で受ける。合格するまで、何度でも可能。問題は毎回変わりますが、問題数は限られているので、複数回すれば合格できます

- 3.3 affidavit 宣誓書を作成し、スキャンしたものを申請ホームページにアップロードする。これには米国領事館に行き、公証人として領事のサインが必要。大阪領事館であれば、ほぼ毎日対応しており、ホームページで予約可能。名古屋領事館でも可能だが、月一回しか対応しておらず不便。

大阪領事館の予約ページはこちら。市民サービス→予約

<http://japanese.osaka.usconsulate.gov/mobile/ja/citizen-services8.html>

領事館では、受付で訪問理由を告げ、指定の階へ移動。再度目的を説明し、affidavit の書類を提出。書類は、デラウェア州のホールページからダウンロードしたものに事前に記入しておき、サインを記入した証明写真を貼りつけた状態で提出。その後、領事に依頼内容を説明し、宣誓すると、affidavit に証明印を押してもらえ。費用\$50 をクレジットカード又は現金で支払い終了。入館から退館まで所要時間 30 分程度。

- 3.4 最後に申請代\$100 をクレジットカードで支払う。

- 3.5 電子申請が終わると、reference, supervisor の方々へ質問のメールが board から届く。それらに記入いただき、スキャンしたものを、reference, supervisor の方々から board へ直接メール送付いただく。

ここで苦労したのが、reference, supervisor の方々の連絡先に会社のメールアドレスを入力したところ、メールセキュリティではじかれてメールが届かなかったことです。board 側が構築している PE 申請システムによる自動発信と、会社のメールセキュリティの相性が悪く、いろいろ調査、対策を試みましたが、結局あきらめて、私の個人メールアドレスに送付してもらい転送しました。メールは便利な反面、こういった落とし穴があるので、きちんと送付れたものが先方へ届いたかどうか確認が必要です。また会社のメールアドレスよりも、個人のものの方が届き易いと思います。

- 3.6 reference, supervisor の方々から全ての返信が board に届くと、board 内の審査が開始される。1~2 週間で審査が通ると、board から email で通知が届く。シールの申請用紙が付属されているので、そこにシールを押して郵便局の EMS にて郵送する。その際に次回更新時までの維持費用 \$37.5 をクレジットカードにて支払う。EMS は tracking ができ、1 週間程度で到着。seal は emboss

タイプのみが認められています。

<http://www.engineerseals.com/>

にてインターネットで申し込みしました。

他に board からデラウェア州内の次のサイトも紹介されました。

<http://www.franklinstamps.com/UI/en-US>

メールや電話で何回かやり取りし、最も早い UPS の Global Express Guaranteed で発送。こちらでも 1 週間で届きました。

3.7 seal が受理されると、ホームページの状況表示が active に変更されると共に、郵送にて書類が届く。

4. その他

私にとって PE 登録というのは、まさに 3 次試験というべき大きな挑戦でした。それは他の多くの試験のように自分一人で頑張るだけでは不十分で、supervisor や reference の方々の信任を得る必要があるからです。これまで社外活動にあまり取り組んできませんでしたので、JSPE のイベント参加が非常に刺激になりました。休日に積極的に研鑽されておられる姿を拝見し、自分の努力不足を改めて感じました。それぞれ第一線でご活躍されておられる方々と知り合うことができ、reference 制度が素晴らしいものだとな得しました。今後は、PE として、日本を代表するエンジニアとして認めていただけるよう努力していきたいと思えます。

最後に、長期間の受験活動に協力してくれた家族に心から感謝します。

以上